

総合病院の公募による富谷・黒川地域の医療提供体制の強化

■富谷・黒川地域の救急搬送状況

- ○富谷・黒川地域で発生した救急搬送の 83.4%が仙台市内へ流出(令和5年)
- ○仙台市内まで搬送されるケースが多いことから、富谷・黒川地域の救急搬送時間が53.3分と長時間化し、全国平均(45.6分)及び県平均(48.3分)を大きく上回っている(令和5年実績)

■公募実施の目的

- ○救急・急性期を担う総合病院がない富谷 市はじめ、救急搬送時間が長時間化して いる富谷・黒川地域の住民の生命・健康 を守るため、病院を誘致する。
- ○富谷・黒川4市町村が公立黒川病院、黒川医師会と連携・協力し、新病院を含めた病院連携、地域連携のための「医療連携支援等プラットフォーム」を構築する。

医療連携支援等プラットフォームの構築 公立黒川病院 大衡村 (急性期110床、回復期60床) 大郷町 公立黒川病院との連携 大和町 地域の医療機関 ・専門分野の強化 富谷市 との連携 ・機器の共同利用 ・病床の機能分化 など 近隣の仙台市泉区の 住民にもメリットがある 仙台医療圏 救急搬送の 仙台市 地域完結率向上 誘致病院(100床以上) ・救急医療への対応 ・災害医療への対応 ・新興感染症への対応 ・その他地域の医療需要に 応じた医療サービス提供

新病院の立地を富谷・黒川地域全体の医療提供体制の向上と 医療資源の最適活用につなげる「新たなモデル」とする